

メディカルシャペロンの役割

研究分担者: 岐阜大学連合創薬医療情報研究科 桑田一夫

1. 作用機構による抗プリオン化合物の分類

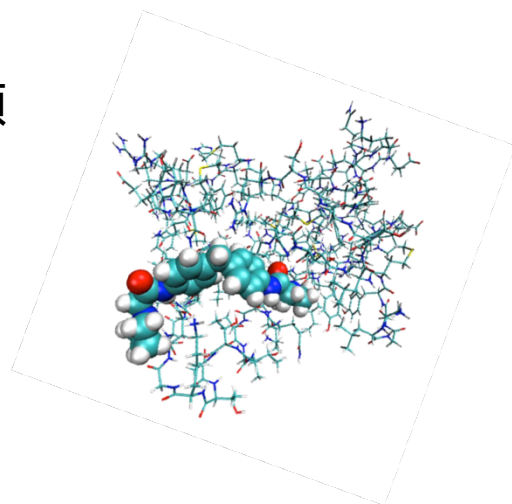
I. 特異的結合

(**メディカルシャペロン**)

II. 非特異的結合

III. タンパク質の凝集

IV. プリオンタンパク質以外に作用



2. シャペロンの分類

I. シャペロン(蛋白質フォールディングを助ける)

II. 化学シャペロン(溶媒に作用する)

III. 薬学シャペロン(酵素を安定化する基質アナログ)

IV. **メディカルシャペロン**(タンパク質の立体構造を制御)

解説

1. 核磁気共鳴法(NMR)と表面プラズモン共鳴(SPR)測定により、これまで発表された抗プリオン化合物を、その作用機構に基づいて分類した。これらの中でも、**メディカルシャペロン**は、特異的であり、かつ副作用が少ない。
2. これまで発表されてきたシャペロンを分類・整理した。メディカルシャペロンは、副作用が少なく、疾患の治療薬として最も有効である。